



DOOR IS AJAR

naoaki yamamoto

ドアは開いているか 山本直彰 展

2020
11.16
12.19

現

代日本画を牽引する作家のひとりである山本直彰は、従来の日本画の枠に収まらない抽象的な心象世界を描き続けてきました。とりわけ、実物のドアを支持体として用いた「DOOR」シリーズは、新たな日本画の絵画表現として注目を集めました。本展タイトルにある「AJAR」とは、ドアなどが半ば開かれた状態を指します。内と外、自己と他者、生と死といった、相反する様々なものを分かつつ結ぶ存在であるドアを基点に、多様な主題によって展開した近年の代表作と、本展にあわせて制作する新作によって、山本の作品世界をご覧ください。

武蔵野美術大学美術館 展示室3・4

休館日 一日曜日 | 入館料無料
 開館時間 10:00-18:00 (土曜日、祝日は17:00閉館)
 主催 武蔵野美術大学 美術館・図書館
 協力 武蔵野美術大学 造形学部日本画学科研究室
 ※都合により、会期等が変更になる場合があります。

第一章 物語の向こう

「DOOR」「IKAROS」「PIETA」「帰還」といったシリーズを中心に、聖書あるいは神話、小説をひとつの発想源とした近年の作品群を紹介いたします。そこには、かつての歴史画のような具体的な出来事は描かれず、空間を分かちつた矩形の形象や、周囲を侵食するよう広がる滲んだ描写によって表された、静謐な画面が現れます。山本は、物語が内包する精神性を咀嚼し自己の内面に取り込むことで、その向こうに見える心象世界を描き出します。



- 2.《PIETA 2006I》2006
 岩絵具、箔、アートグルー/白麻紙
 227.3×181.8cm
- 3.《IKAROS 20015》2001
 岩絵具、箔、アートグルー/麻紙
 130.3×388.0cm
- 4.《帰還 XXII》2014
 岩絵具、箔、アートグルー/合成紙
 276.0×227.3cm
- 5.《ASK, SEEK, KNOCK - DOOR II》2018
 岩絵具、墨、箔、アートグルー/和紙
 181.8×396.8cm
- 6.《M氏の肖像》1987
 岩絵具、箔、膠/麻紙
 181.8×227.3cm

第二章 去来する時間

過去、現在、未来を彷徨する「時間」を主題とした新作では、これまで描いてきたドローイングをカラージュの素材として貼り合わせ、幅16mを超える大画面を構成します。記憶の断片ともいえるドローイングの数々は画面の中で結びつき、自叙伝のような作品へと再生されます。あわせて、90年代までに描かれた具象的な人物画を数点展示します。蓄積した記憶を通して自己を見つめた新作と、モデルを通して他者を見つめた初期作は、時間を超えて展示空間の中で邂逅します。



山本直彰

画家 / 山本直彰
 武蔵野美術大学 造形学部日本画学科教授
 1950年生まれ。1969年愛知県立芸術大学日本画科に入学し、片岡球子に師事。4年次からは大森運夫に学ぶ。在学時から新制作協会展、創画展に出品。1975年愛知県立芸術大学大学院修了。1992年から1年間、文化庁芸術家在外研修員としてブラジルに滞在。2009年平塚市美術館にて、個展「日本画の今山本直彰展 帰還する風景」開催。翌2010年芸術選奨文部科学大臣賞、神奈川県文化賞受賞。
 2009年当学造形学部日本画学科客員教授に着任、2011年より同学科特任教授を務める。



7. 新作部分(上)
 ポートレート(下)

【関連企画】
 作家による作品解説などの映像を Web にて公開予定。
 詳細が決まり次第、当館 Web サイトにてお知らせいたします。

【同時開催展覧会】
 ▷ 2020年11月16日 [月]-12月19日 [土]
 ・十時啓悦—樹木と漆と暮らし
 ・所蔵品展—ふたしかなデザイン
 ▷ 2020年11月30日 [月]-12月19日 [土]
 ・部屋と庭 隔たりの形式
 ▷ 2020年10月26日 [月]-12月19日 [土]
 民俗資料室ギャラリー展示 28
 ・紙・木・薬にみる祈りの造形

【交通アクセス】
 ・西武国分寺線「鷹の台」駅下車、徒歩18分
 ・国分寺駅北口徒歩3分、西武バス「武蔵野美術大学」行きまたは「小平営業所」行きに乗り、「武蔵野美術大学正門」下車(バス所有時間約20分)
 ・立川駅北口(5番乗り場)より立川バス「武蔵野美術大学」行きに乗り、「武蔵野美術大学」下車(バス所有時間約25分)
 ※お車でのご来館はご遠慮ください。

武蔵野美術大学 美術館・図書館
 Musashino Art University Museum & Library
 〒187-8505 東京都小平市小川町1-736
 tel: 042-342-6003
 https://mauml.musabi.ac.jp
 Twitter: mau_m

